

## 第2学年2組 森林環境学習 学習指導案

平成29年10月30日(月)第1校時

授業者:

### 1 学習のねらい

- 自然界における生物の相互関係や、自然と人間のかかわり方について感心を持つことができる。
- 生物と環境を知り、生態系への理解を深めることができる。
- 自然ふれあい体験活動を通して、生態系について興味・感心を持ち、環境保全の意義について自分の考えを持つことができる。

### 2 関連教科・学習年次

社会科	1 学年「世界のさまざまな地域」 2 学年「日本のさまざまな地域」
理科	1 学年「植物の世界」 2 学年「動物の生活と生物の変遷」 3 学年「生命の連続性」「地球とわたしたちの未来のために」
保健・体育	2 学年「傷害の防止」
技術・家庭	2 学年「エネルギー変換に関する技術」 3 学年「生物育成に関する技術」
道徳	「自然愛護」「生命の尊重」

### 3 指導計画【教科名】(総授業時間2時間)

- (1) 生物多様性と人間【理科】・・・・・・・・・・・・・・・・(1時間)(本時)
- (2) 自然ふれあい体験活動【総合的な学習】・・・・・・・・(1時間)

### 4 本時の目標

#### (1) 生物多様性と人間

自然環境内では、1つの生態系の中で種間・遺伝子間の多様性があることを知り、生物多様性について興味・関心を持ち、あわせて、環境保全や生物多様性について自分の考えを持つことができる。

#### (2) 自然ふれあい体験

散策コースに生息している生物の写真を撮影し、観察した特徴をまとめ、生物図鑑を作成する活動を通して、生物多様性や環境保全に対する自分の考えを深めると共に、自然愛護や生命の尊厳の心を養うことができる。



(2) 自然ふれあい体験活動 【 総合的な学習 】

段階 (時間)	学習活動・内容	形態	○指導上の留意点 ◇手立て ☆達成基準 (評価方法)
課題 把握 (5)	1 前時の復習をする。  2 本時の課題を把握する。 世界に1つの生物図鑑をつくろう。	一斉	○人間は生活を豊かにするため生態系を壊している。その反面、人工林や田んぼなど、人間の手によって生物多様性ができている。ことを思い出させる。
課題 探求 (35)	3 散策コース周辺に生息している生物を観察し、その生物の写真を撮影する。	グループ	○散策時の注意点を説明する。 ・危険の無いように散策すること。 ・生物を採取しないこと。 ○写真を撮影する場合、撮影対象の生物の特徴を記録しておくように説明する。 ○散策時に、コース周辺に分布している生物名を確認しておく。
まとめ (10)	5 本時のまとめをする。 ① 生物図鑑の作成 撮影した写真と記録した特徴を模造紙に貼り、生物図鑑を作成する。 ② 感想用紙をまとめる。	グループ	◇あらかじめ確認していた生物名や特徴などを教え、図鑑を作成させる。 ☆生物の特徴に着目した図鑑を作成することができる。(生物図鑑) ☆生物図鑑の作成や、散策時の感想をまとめることができる。(感想用紙)